

谷友幸 とゆうき ドイツ文學者。明治四十四年五月十二日東京生れ、昭和五十六年七月二十四日没（九一―八二）。昭和十一年京都帝國大學文學部卒業。ドイツの留學。廣島高等學校、第二高等學校各教授を経、京都大學助教。

譯書の『風景畫論』（昭和十八年十月一日二啓書房『リルケ全集』）、『ディオティイーマ作 戀文』（昭和二十二年四月五日京都・世界文學社）、リヒアルト・ヴァクナー著『ベートホヴェン』（昭和二十五年七月二十日養徳社『養徳叢書・外國篇』）、ゲーテ著『藝術の心』（昭和二十八年一月一日京都・マテナ書院）、ヘルダールン作『悲劇エムペードクレス』（昭和二十八年五月五日岩波書店『岩波文庫』）等。著書『リルケ傳』（昭和二十二年十一月十日創元社）、『ロシアリズムと散文の問題』（合著・人文科學委員會編、昭和二十四年五月十五日世界文學社『人文科學叢書』）、『リルケ』（昭和二十六年十月二十一日弘文堂『マテナ文庫』）等。

